

押入れ産業社長 森田 浩史氏

大学卒

業後、S

社に入社

し希望の

海外事業

本部に配

属された。部署は管理部輸出

業務課で、S社の製品を海外

に輸出する通関業務を担う部

署。新人は1年間、この部署

で研修を受け、その後、海外

ブロックごとのセールス課へ

異動することになっている。

輸出業務課1係は北米向け



最初の上司は鬼教官

外に出て会社
を代表し仕事
をするという

のAIR SHIPPING

を担当する部署だが、主だっ

た業務は先輩社員と提携先の

通関業者が行っており、新人

は関連部署や船会社をはじめ

関係会社へ赴き、ひたすら話

を聞きメモを取る。特にベテ

ラン通関業者の方々には大変

お世話に

なった。

一方、

部署の直

属の上司

は統括係



長で、身長は180センチを超え、

パンチパーマで色付き眼鏡。

声もでかいときいているから近

寄れなかった。夕方6時ご

ろ、その鬼教官と呼ばれその

日に学んだことを報告する。

ここでこつこつと絞られた。米

ミリタリー映画での鬼教官と

新人入隊者そのものだった。

とにかく怒鳴られ、叱られた。

今だったらコンプライアンス

(法令順守)違反となるだろ

う。ただ、何も分からぬ頭で

っかちな新人に、これから海

ことはどうということなのか、

その意味でも入社最初の1年

間がいかに大事であるか、こ

れからの会社人生のスタート

として多くを叩き込まれた。

今、あのような教えはどこ

の会社を見てもないだろう。

ただ社会人1年目の私にとっ

て、今思えばその後の社会人

としての姿勢を教えてもらっ

た貴重な体験だったことは間

違いない。この場を借りて当

時の鬼教官、いや統括係長に

心から感謝を申し上げたい。